



女性に対する暴力のない社会へ チェンジ!

ウィメンズカウンセリング 名古屋YWCA10年の歩み



「人と対等に、誠実に、また自分自身に正直に、自信を持って生きていく。攻撃的にならず、卑屈でもなく、自然な態度で人と付き合う。私たち一人ひとりがそんな生き方ができるようになりたい。ありのままの自分をみつめ、気持ちを言葉にし、お互い認め合う経験を通して、自分自身を大切にすることを育て、

人との関係性を育てましょう」(「私をひらくトレーニング」パンフレットより引用)。

私たちは、このような生き方ができる女性が1人でも多くなることを願い、1999年に「ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA (以下、WCNY)」が発足しました。多くの会員の方々からのご支援に支えられて、気づけば今年度で10年の歩みを記すことができました。現在は、会員活動からYWCAの1事業へと成長しています。

このWCNYのカウンセリングは、フェミニストカウンセリングをベースに行なっています。「フェミニストカウンセリング」とは、女性たちの問題を「個人の資質に関して起こっているだけではなく、男性中心社会の中で女性に課せられたジェンダー規範の抑圧からも起こっている (Personal is Political=個人的なことは政治・社会的なこと)」と見なします。そして、ジェンダー規範からの解放をめざし、女性たちが真の自立を確立していくことを目標としています。

今年度10周年を記念して、11月3日に大妻女子大学教員の鄭暎恵さんをお招きし、ご講演いただきました。そこでは、「女性に対する暴力=性的暴力」を「人間性を否定された性的な関係や暴力」と定義し、「性暴力禁止法をつくろうネットワーク」運営委員でもある鄭さんの日頃の活動の中から見えてきたさまざまな問題について、熱く語られました。また、「女は男の所有物」という考えの上に乗った社会意識と法律を変える必要があり、政権が代わった今は絶好のチャンス!と期待されてもいました。

私たちは、人権に関するさまざまな活動を行なっているYWCAという環境の中であって、女性に対する問題を社会的な問題に当てはめて広い視野で見、発信していく場に恵まれており、幅広い実践が可能となっています。この10年を基に、さらなる歩みを確実に一歩一歩進めていきたいと思っています。 名古屋YWCA 増井さとみ

オリーブの木キャンペーン卓上カレンダー 2010年版販売中!

JAI (YWCA・YMCAジョイント・アドボカシー・イニシアティブ) 作成の2010年版卓上カレンダーが今年もパレスチナから届きました。1部500円(送料込み580円)で販売中です!

収益はオリーブの木キャンペーンを広めるために用います。

2009年12月21日までにお申込みいただいた方には年内にお届けします。



A5判カラー

- ◆ご注文はメール (office-japan@ywca.or.jp) あるいはFAX (03-5367-1873) で。
- ◆お名前・ご住所・電話番号・部数を明記して下さい。
- 代金の支払いは、納品時に郵便振替用紙を同封いたしますのでお振込みください。



熊本
YWCA

地球家族を目指して 「留学生の会」20周年

熊本YWCAに「留学生の会」が発足して今年で20年になります。これまでの活動を振り返り、今後の展望を開くために、11月8日熊本YWCA創立45周年の日(記念会)を開催し40名が出席しました。20年前、円高による留学を強いられ卒業失調で東京のアパートで孤独死した1人の留学生への思いから、地元で私たちにできることは何か模索する中で、それまで個人的に留学生に寄り添って活動していた者たちが集まって立ち上げられたものでした。

来題、日本人家族紹介(延べ359組、日本語講座(学習者361名)、奨学金支援(28名)、文化交流活動、など)1人ひとりの小さな力を寄せ合って地道に活動を続けてまいりました。この20年の間に世界はめまぐるしく激変しています。留学生の生活は20年前よりは良くなりました。高の影響は再び彼の生活を圧迫しています。20年前と変わったこと言えは、「留学生の会」活動を通して、世界の動きが他人事ではなく非常に身近な出来事として考えられるようになったこと、留学生やその家族との出会いを通して、言葉や文化・

宗教・考え方の違いを自然に受け入れ楽しむようになったこと、などでしょうか。また、多くの方々から寄せられるさまざまな物品の保管場所として借地して募金のみで建てることのできた熊本YWCAセンターが、大切な活動拠点として息づいています。留学生の家族、特に女性や子どもを対象の「国際隣人会」や「母と子の国際交流」などのプログラムも生まれました。この11月には子どもを小学校に通わせているイラン、インドネシア、フィリピンの母親に小学生との国際交流授業のボランティアをお願いし、双方に大変喜ばれました。

新刊冊子紹介

- 「ともに祈りを」 YWCAがこれまでに用いた礼拝式文・折り・礼拝メッセージなどを収録しました。ぜひご購入の上ご活用ください。
- 「ファンドレイジングマニュアル」 ファンドレイジング(資金調達)を行うことの第一の目的は活動に必要な資金を調達することですが、その方法によっては、単にお金を得るだけでなく、活動を広く世間に知らせ、賛同者を得ることもできます。継続的に資金を調達し、活動を広め、私たちのミッションを達成するためのファンドレイジングの方法を紹介しています。



A4カラー



A4カラー

◆お問い合わせ・ご注文はメール あるいはFAXで日本YWCAまで。

- ◆協力ありがらご支援ください
- 賛助費(以下敬称略)
- 古川通子 藤井初子 稲葉和寿子 高橋登美
- 指導者養成基金
- 菅野美智子 女子学院宗教部
- 仙台YWCA
- オリーブの木基金
- 坂和優 奥YWCA
- アジア・太平洋地域被災者救済基金
- 小野小夜子 浜松YWCA
- 奥YWCA 浦和YWCA
- 日本キリスト教改革派東京福音教会 クリスマス献金
- 一般寄付
- 捜索女学校YWCA
- 坂和優(二股まき子 金剛静慧 石川松子)
- (2009年11月20日現在)

あとがき ▼「新しい年」▼たとえさやかであっても、誰もがそこに「希望」を託したいと思う▼日本YWCAは新しい年と共に、新しい総会を迎えたい▼私たち一人ひとりが互いを受け入れ、中心ではなく、周辺にこそ注目を感得であり、行動する3年間でありませう

(RM)